市政に対する一般質問

三月議会では、七日（代表質問）、八日、九日（個人質問）の三日間で行われ、十三人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、写真、カットも各自の責任で編集しています。編集委員会の責任に帰するものではない事を御理解下さい。（編集長）

直売所とニュー農パークの進捗状況は

津山新星会議　代表質問

質問者　竹内邦彦

会派メンバー
近藤吉一郎、佐々木裕子、野村昌平、吉田耕造、米井知博

質問→合併による多額の起債残高、債務負担を抱えているが、この状況をどう認識し改善していくか。

答弁→市民一人当たり約九十五万円の債務残高は非常に多額と認識している。起債事業の取捨選択を行い、総合計画策定時に中期的な財政計画を立てて行きたい。

質問→アルネ津山再建に関し、①「街づくり推進室」の設置状況②ごんごバスの北、西回りの進捗状況③図書館の開館時間と休館日の変更④展示ホールの増設と市民がくつろげる場所の確保等、会派からの提案はどうなっているか。

答弁→平成十七年度は、現組織の中で体制充実を図る。中鉄バスの院庄循環線運行経路を一部変更し取り組む。また、この秋にはバス路線の再編を行い北回りに対処する。四月から図書館の開館時間は午後七時まで休館は商業床と同じようにするよう努力をする。

質問→失業対策として思い切った企業誘致策を打ち出していただきたい。市長の考えは。

答弁→リース制度導入と立地奨励金の交付制度を取り入れて、現在努力しているところであり、今後は企業のニーズを的確に把握し効果的な誘致策を検討していく。

質問→農業施策に関して、直売所とニュー農パークの進捗状況は。

答弁→直売所（地産地消センター）をグリーンヒルズ津山の一画に設置したい。ニュー農パークはやる気のある農業者の人たちが組織する法人を中心に入植方式で、ビオーネ王国に呼応し団地化を図りたい。

質問→岡山国体の開催意識の盛り上げはどうするのか。

答弁→「花いっぱい運動」をする必要があり、ほふく性ペチュニアを三万ポット用意し駅前・今津屋橋周辺から開催会場までプランターとして設置していく。

◎ 議員や後援会が有料のあいさつ広告を出すと処罰されます。